

高松・まちづくりふれあいトーク～市民と市長の対話集会～ **第3回会議録**

日 時	平成19年7月20日(金) 午後7時00分～8時10分			
場 所	庵治支所 105会議室			
出席者 (市)	市長 健康福祉部次長 都市整備部部長 文化部次長	総務部長 病院部長 消防局長	企画財政部長 環境部長 水道局次長	市民部長 産業部長 教育部長
	事務局 7名			
市 民	46名			
概 要	1 開会 2 市長あいさつ 3 資料等説明 4 意見交換			
意見交換				
市民	基本構想の中で具体的な事業，例えば木田郡北部ルート of 具体的な事業概要等が記載されて無いのはどうしてか。また，現在の予算規模と一般会計の借金，事業を行ったとして平成27年度の一般会計の借金の見込みはどうか。			
市長	基本構想を固めて，実施計画を策定することとしており，その中で，具体的な事業を定めていくこととなる。財政は厳しい状況だが，今年度は，一般会計 1,350 億程度の予算で借金は 1,600 億程度となっており，借金の方が多いが，歳入と歳出のプライマリーバランスの黒字を維持して，財政の健全化に努めたい。			
市民	特別会計の借金はどうか。			
関係部長	平成18年度末で1,080億程度の借金があるが，一般会計と同様にプライマリーバランスの黒字を維持して，借金を減らしていく。			
市民	庵治漁協に勤めています。総合計画で水産業の振興に取り組んでもらいたい。また，庵治文化館を拠点として，海産物を販売したり，観光に取り組んでほしい。レンタサイクルの利用も有効ではないか。			
市長	庵治地域が高松になったことにより，水産業が地場産業という位置付けになったと思うので，出来る施策は取り組んでいきたい。また，観光資源を有効に活用し，地元の皆さんのアイデアを取り入れて，レンタサイクルでの新たなルート発見も含めて，地域の活性化に取り組みたい。			
市民	健康なまちづくりで食育の推進に取り組んでほしい。また，庵治文化館は観光面でのアピールが十分に出来ていないと思う。			

市長	<p>6月議会の答弁で、食育の新たな展開を含め、食育の推進に努めていくことを申しあげたが、9月補正で対応することを考えている。文化館の観光面については、市役所の組織間での連携を強化してサポートしてまいりたい。</p>
市民	<p>庵治支所の有効利用についてどう考えているか。また、庵治町時代に三枝惣太郎氏の作品を所有していたが、今後、どうするのか。</p>
市長	<p>庵治支所については、市職員の研修施設として有効活用していきたいと考えている。今年度から試行的に一部実施することとしている。また、三枝氏の作品については、今後、展示場所等について、検討する。</p>
市民	<p>町おこし会、小さな親切活動を行っている。町おこし会では庵治地区で瀬戸フィル音楽会のデリバリーアーツの事業を初めて行う活動もしている。また、小さな親切活動では、大島青松園との交流をしているが、船便が無いため、交流時間が短くなってしまっているので、ご配慮いただきたい。</p>
市長	<p>様々な活動をしていただき、感謝します。市も出来るだけの協力をする。また、大島との地域間交流は大きな問題と認識している。船便は国の所管になるが、市から情報、要望はしっかり伝える。</p>
市民	<p>漁協の婦人部からの意見を言います。浜にトイレが無いので整備してほしい。また、婦人部では、地域間交流として、塩江桜まつりで海産物販売などを行うことになり、今後、重要な取組になると思う。</p>
市長	<p>漁港関係の整備については、地元・利用者の意見を取り入れて行っていきたい。地域間交流については、民間での交流を積極的に行っていただきたい。市としても推進するしくみづくりや支援を検討する。</p>
市民	<p>障害者の預かりを自宅を改造して行っているが、預かった障害者が奇声を発するなどして、問題があった。支援策等どうにかならないか。</p>
市長	<p>地域の理解を得ることが大切だと思う。地域コミュニティに市が仲介することなど考えてみたい。非常に立派なことをされていると思うので、その気持ちを大切に活動が続けていただきたい。</p>
関係部次長	<p>市では、障害福祉課が担当になるので、何かありましたら、相談していただきたい。</p>
市民	<p>地域安全推進員として発言する。年寄りの一人暮らしでゴミや粗大ゴミを出しにくいという声を聞く。庵治の処理場が封鎖されるということもあり、どういう対応があるか聞かせてほしい。</p>

市長	ごみ問題も含めて、援護が必要な方に手が届くようなシステム、コミュニティづくりを進めていきたい。具体的な内容については検討する。
関係部長	粗大ごみ等について、来年4月から、電話での申し込みにより、家の前まで収集に行く戸別収集での対応が可能になる。一人暮らしの高齢者への対応については、地域での共助をお願いしたいが、要介護の人たちを中心にふれあい収集などでの対応も検討中である。